

用語集

い

【硫黄酸化物(SO_x)】

[P43, 50, 51, 63, 66]

二酸化硫黄(SO₂)、無水硫黄(SO₃)などの総称。化石燃料に含まれる硫黄化合物の燃焼によって発生する。呼吸器疾患を引き起こしたり酸性雨などの原因になるため、大気汚染防止法の規制対象物質となっている。

【一般廃棄物】[P60]

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」では、「一般廃棄物」とは産業廃棄物以外の廃棄物としている。主に家庭やオフィスから排出される生ごみ、粗大ごみ、紙くずなどのこと。

え

【エコキュート】[P28]

自然界に存在する二酸化炭素(CO₂)を使用したヒートポンプ給湯機の総称。圧縮機で大気の熱を汲み上げ、給湯の熱エネルギーをつくるため、使用する電気の3倍以上の熱エネルギーが得られる高効率省エネ機器である。またCO₂はフロン冷媒に比べ、オゾン層を破壊しない優れた環境性を有している。

【エネルギーセキュリティ】

[P23, 51, 58]

政治、経済、社会情勢の変化に過度に左右されずに、エネルギー源を確保すること。

お

【オール電化】[P19, 28, 40, 64]

調理・給湯・冷暖房など家中すべてのエネルギーを電気ですまかなうこと。

【沖縄グループ】

沖縄電力を中核とした関係会社の総称。電気事業をはじめ、建設業、情報通信事業、不動産業、その他多岐にわたる専門業務を遂行し、電力の安定供給を基本としつつ事業展開を行っている。

【沖縄青少年科学作品展】

[P32, 61]

青少年の科学に対する関心・興味を喚起し、沖縄県の科学教育と人材育成への貢献

を目的とした、当社主催行事。当日は、出品作品の展示のほか、環境行動パネル展、チャレンジ実験、ロボット競技コーナーなど、科学を楽しく学ぶ趣向が凝らされている。

【オピニオンリーダー】[P40]

ある集団の意見の形成に方向づけをする人。世論や集団の意志形成に大きな影響力をもっている人。世論形成者。

【温室効果ガス】

[P4, 23, 51, 58, 66]

地表付近の気温は、太陽から流入する熱(赤外線、可視光線)と地表から放射する熱とのバランスで決まる。大気中には赤外線を吸収するガスが存在するために、地表の気温は適温に保たれている。これらのガスを温室効果ガスという。しかし、温室効果ガスの急増により地表の温度が上昇する現象(地球温暖化)が現れ、1997年に二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六フッ化硫黄(SF₆)の6物質を温室効果ガスとして削減対象とする京都議定書が採択された。

【温排水】[P50]

火力発電所では、タービンを回した後の蒸気は復水器に送られ海水によって冷却されて水に戻る。この際に使用した海水は、取水時より最大で7℃ほど上昇し、海などに排出される。これを温排水と呼ぶ。

か

【カーボンニュートラル】[P55]

バイオマスも燃焼によりCO₂を発生するが、バイオマス燃料の原料となる植物は、成長過程でCO₂を吸収しており、ライフサイクル全体で見ると大気中のCO₂を増加させない。これをカーボンニュートラルと呼ぶ。

【可倒式風力発電設備】

[P13, 26, 46, 54]

本体を90度近く倒すことができる風車で、台風の強風に耐えるのではなく台風時の強風を避ける新たな風力発電設備。

【かりゆしウェア】[P56]

「沖縄をモチーフにしているもの、県内で縫製されているもの」という定義の上衣。アロハシャツ風で通気性に富み、官

公庁や企業の夏服として定着しつつある。2000年の沖縄サミット開催に伴い普及活動が活発化し、名称と定義の統一がなされた。沖縄県工業連合会の登録商標。

【環境月間】[P34, 48, 62]

国連で6月5日が「世界環境デー」と定められたことから、環境省の主旨により、6月の1ヶ月間を環境保全に関するさまざまな行事を行う期間として、環境月間が設定された。

【環境マネジメントシステム(EMS)】[P4, 48]

企業などの組織が行う、環境への負荷低減のための取り組み方法。環境方針を計画・決定し(Plan)、実施・運用し(Do)、点検・評価し(Check)、展開する(Action)というPDCAサイクルを繰り返して、継続的に運用していく。

【環境モニタリング】[P49]

発電所の稼働による環境への影響を監視・把握するために、工事中および運転開始後に行う環境調査のこと。大気質、騒音、水質などの調査がある。

【環境ラベル】[P56]

消費者に環境負荷の少ない製品やサービスを選んでもらうために、製品や包装、広告などに付けられたマーク。

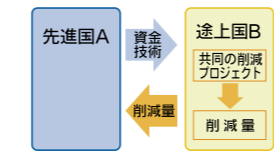
【頑丈土(がんじょうど)破砕材】[P59]

石炭火力発電所から発生する石炭灰を原料として、当社が製造した資源循環型の地盤材料。砂質土と同様の性能を有しており、また軽量、高強度、優れた走行性などの特徴がある。建設大臣認定機関(一財)土木研究センターの技術審査証明を2000年12月に取得した。また、2006年11月には国土交通省所轄の(一財)沿岸技術研究センターより港湾関連民間技術の確認審査評価事業で、港湾工事の埋立材料などとして認定された。(沖縄県リサイクル資材評価認定制度(ゆいくる)認定資材)(港湾関連民間技術の確認審査・評価認定資材)

＜問合せ先/沖縄プラント工業(株)＞
●主な用途:道路の路床材、路体の盛土材/構造物の裏込め材、埋戻し材/土地造成の拡幅盛土材/埋設管の埋戻し材/河川築堤の高上げおよび腹付け材

く

【グリーン開発メカニズム(CDM)】[P58]



先進国が開発途上国において温室効果ガス削減事業を行い、事業に伴う削減量を自国の削減量としてカウントできる仕組み。

【グリーン購入】

[P36, 45, 46, 56, 60]

製品を購入する際、必要性を十分に考慮するとともに、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さいものを選択して購入すること。

こ

【コーポレート・ガバナンス】

[P12, 15]

会社の不正行為の防止あるいは適正な事業活動を維持・確保するために、企業を健全に運営すること、また、その仕組み。企業統治。

【古紙】[P44, 60]

使用済みの紙類の総称で、再生紙の原料となる。古紙はほぐして繊維に戻し、異物の除去、脱インキ・漂白などの工程を経ると、段ボール、新聞紙、雑誌、トイレットペーパーなどに生まれ変わる。

さ

【再生可能エネルギー】

[P26, 34, 43, 44, 46, 51, 52, 53, 54, 55, 58, 65]

「エネルギー源として持続的に利用することができる」と認められるものとして、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存在する熱、バイオマスが規定されている。資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となるCO₂をほとんど排出しない。

【産業廃棄物】

[P44, 45, 46, 59, 60]

廃棄物は「産業廃棄物」と「一般廃棄物」に区分されてい

る。産業廃棄物とは、工場などの事業活動に伴って排出される廃棄物のうち、燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリなど、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」で定められた廃棄物のこと。排出事業者は自ら処理をする責任を負う。

【サンゴ再生プログラム】

[P62]

サンゴ群落の再生を目的に環境省、沖縄県、恩納村などの後援、恩納村漁業協同組合などの技術指導のもと、「チーム美らサンゴ」の参画企業社員とボランティアダイバーらによる養殖サンゴの植え付けを行う官民共同の自然再生プログラムのこと。

し

【次世代育成対策支援促進法】[P37]

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ育成される社会の形成に資することを目的として2003年に制定された法律。

企業は同法に基づき「一般事業主行動計画」の策定・公表などが義務付けられている。

【情報セキュリティ】

[P12, 18, 65]

情報を機密性、完全性、可用性の面について、さまざまな脅威から安全に保護すること。

【新エネルギー】

[P33, 53]

「新エネルギー利用などの促進に関する特別措置法(新エネルギー法)」において「新エネルギー利用など」として定義されるエネルギーのこと。具体的には、太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、温度差エネルギー、雪氷熱利用、バイオマス発電、バイオマス熱利用、バイオマス燃料製造、地熱発電、1000kW以下の水力発電がこれに該当する。

【シンボルスポーツ】

[P29, 38]

従業員の一体感や士気向上をはかるため、さらには地域振興や競技振興といった社会貢献に寄与するため企業が認めたスポーツ。当社では2001年7月より硬式野球部をシンボルスポーツとして位置付けている。

す

【スケジュール運転】[P53]

出力が天候に左右される太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーを従来の発電機と同様に安定的かつ計画的な電源として活用するため、翌日の気象予測等をもとに、あらかじめ作成したスケジュール通りに再生可能エネルギーと蓄電池の合計出力を制御する運転方法のこと。

【ステークホルダー】

[P4, 6, 15, 21, 40, 66]

企業活動によって影響を受け人々や団体など利害関係者のこと。

せ

【生物多様性】[P49]

生物多様性には、①生態系の多様性(地球上にはさまざまな生態系が存在する)、②種間(種)の多様性(地球上にはさまざまな種類の生物が存在する)、③種内(遺伝子)の多様性(同じ生物種内でも遺伝子による違いがある)、の3つのレベルの多様性がある。

人間は生物多様性の恩恵を受け、あるいは生物多様性に影響を与えている。私たちが生物多様性の恵みを将来の世代にわたって享受し続けるためには、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組むことが重要である。

【世界銀行】[P58]

発展途上国が自らの力によって発展するように支援することを使命として、主に発展途上国の政府や民間企業に対して、融資・貸付・技術協力・調査・研究などを行う公的な国際金融機関であり、一般的に国際復興開発銀行(IBRD)と国際開発協会(IDA)の2つをいう。

【ゼロエミッション】[P59]

国連大学が提唱しているコンセプトで、事業活動の結果、排出される廃棄物をゼロに近づけて、循環型社会システムを構築しようという取り組み。廃棄物を発生抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再利用(Recycle)することにより、最終処分量を減らすということ。

た

【炭素基金】[P58]

地球温暖化を引き起こす温室効果ガスの排出量削減を推進することを目的に設立された基金。先進国政府や企業からの出資をもとに、発展途上国や旧東欧における温室効果ガス削減プロジェクトに投資、削減された温室効果ガスの一部を「CO₂排出クレジット」として出資者に還元する仕組み。世界銀行ではCDCFやBioCFなどがある。

ち

【地球温暖化】

[P4, 6, 48, 51, 52, 54, 56, 58, 59, 62]

地表付近の気温は、二酸化炭素などの温室効果ガスの存在によって適温に保たれているが、産業活動の拡大により温室効果ガスが急増し、大気圏外へ放出されるはずの赤外線を温室効果ガスが吸収し、地球規模での気温上昇が進んでいる。この現象を地球温暖化という。

【窒素酸化物(NO_x)】

[P43, 50, 63, 66]

燃料が燃える時に、空気中の窒素と酸素が反応して生成される酸化窒素(NO)や二酸化窒素(NO₂)などの総称。自動車の排気ガスや、工場や家庭で使用するボイラーなどから発生し、環境や人体に有害な物質とされている。

な

【内部統制】[P15, 20]

企業などの組織内部において、違法行為・不正、ミスおよびこれらに伴う損失の発生を防ぐためにコンプライアンス体制やリスク管理体制の整備を図るなど、健全で効率的な企業活動が行われるような仕組みを確保すること。

ね

【熱効率】[P46, 51, 52, 56]

火力発電の過程で、燃料の燃焼で得られた熱エネルギーのうち、有効な電気エネルギーとなった割合を指す。

の

【ノーマイカーデー】

[P46, 56]

自動車交通量の総量を規制する方策のひとつとして、徒歩・自転車・公共交通機関の利用・相乗りにより、二酸化炭素排出量削減、渋滞の緩和や大気汚染防止など、自動車の利用による弊害の抑制を期待した活動のこと。日本では1971年に八王子市が自動車利用を自粛するよう呼びかけたのが最初。

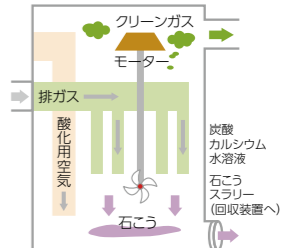
は

【排煙】[P50, 59]

工場などの施設で燃焼の際、発生した煙を、煙突から屋外に排出すること。

【排煙脱硫装置】[P50]

火力発電所のボイラーなどにおいて、化石燃料を燃焼した際に発生する硫黄酸化物を、排ガスから除去する装置のこと。



【排出係数】[P46, 51]

1kWhの電気を使用する際に排出されるCO₂排出量のこと。

【排出原単位】[P43]

1kWhの電気を発電または使用する際に排出されるCO₂、NO_x、SO_xなどの排出量のこと。

【バイオマス】

[P4, 43, 46, 50, 51, 55]

生物(バイオ)の量を物質の量(マス)として表現したものの。産業資源としてのバイオマスは、「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」となる。家畜糞尿や建築廃材などがバイオマス資源となる。

【ばいじん】[P50, 51, 63]

燃料の燃焼などに伴い発生するすすなどの固体の粒子状物質。

アンケートへのご協力をお願いいたします。

「沖縄電力 CSR レポート 2017」をお読みいただき、ありがとうございました。
 当社は、「地域とともに、地域のために」というコーポレートスローガンのもと、さまざまな活動に取り組んできました。皆さまからのご意見、ご感想、ご要望をお聞かせいただき、今後の取り組みの参考にさせていただきます。
 お手数ですが、裏面のアンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

アンケートはFAXでお送りいただくか、
 この用紙を貼りあわせてポストに投函してください。
 また、当社Webサイトにおいてもアンケートにお答えいただけます。
 (当社Webサイト <http://www.okiden.co.jp/index.html>)

【バウンダリー】 [P66]
 境界のこと。本レポートでは、「報告組織の範囲」を指す。

【品質マネジメントシステム(QMS)】
 [P20, 48, 65]
 企業などの組織の仕事、製造物、提供されるサービスの品質を管理し、PDCAサイクルを繰り返して、お客さま満足度の向上を追求するため、継続的な改善を図るしくみ。

【マイクログリッド】 [P34, 53]
 マイクログリッドとは、複数の分散型電源(太陽光発電、風力発電、バイオマス発電など)と消費施設を持つ小規模システムで、情報通信技術を利用して電力の需要と供給のバランスを保ちながら電力の運用を行うシステムのことである。通常は既存の電力系統と連系されて運用されている。

【リスクマネジメント】
 [P12, 17]
 経営活動に生じるさまざまな危険を、最少の費用で最小限に抑えようとする管理手法。

【リチウムイオンキャパシタ】
 [P53]
 寿命が長く、大電流の急速充放電が可能な蓄電設備のこと。再生可能エネルギーの急激な出力変動を打ち消すように速やかに応答するなど、電力系統の安定化等で活用している。

【ELD(経済負荷配分)運転】
 (Economic Load Dispatching)
 [P56]
 電力供給は、複数の発電機を運転してその需要電力に応じている。

経済負荷配分運転とは、より燃料コストが少ない発電機の組み合わせにより需要をまかなう電力を発電させる運転方法のこと。

【IHクッキングヒーター】
 [P28]
 火を使わず「磁力線」の動きで鍋そのものを発熱させるため、エネルギーの伝達ロスが極めて少ない調理器具。
 IHとは、「induction heating(電磁誘導加熱)」の略称。

【IR】 [P35]
 投資家向け広報。企業が株主や投資家に対し、投資判断に必要な企業情報を適時、公平、継続して提供する活動。

【ISO14001】
 (環境マネジメントシステム)
 [P4, 48]
 企業や組織が環境に与える負荷の低減を組織的・継続的に実施し、持続ある発展を実現するための環境改善システムで、1996年にISOによって制定され、2004年に改正版が発行された。特にその中核をなすISO14001では、環境マネジメントシステムの具体的な要求事項が定められている。

【LNG(液化天然ガス)】
 [P4, 10, 23, 43, 46, 51, 52, 65]
 古代の動植物の死骸が堆積して生成された天然ガスを、-162℃まで冷却させて液化したもの(LNG=Liquefied Natural Gas)。液化させることで体積が1/600にも圧縮され、遠隔地への大量輸送が可能となる。CO₂の排出量が石炭・石油に比べ少ないことから、クリーンなエネルギーとして注目されている。

【PCB】(ポリ塩化ビフェニル)
 (Poly Chlorinated Biphenyl)
 [P45, 46]
 塩素を含む有機化学物質の一種で、化学的に安定で絶縁性が高いなどの特性から電気器具などの絶縁油、感圧紙などに使用されてきたが、環境および人体への毒性が明らかとなり1972年に製造中止となった。現在では第一種特定化学物質に指定されている。

【PDCA】 [P5, 18, 20, 47]
 マネジメントサイクルのひとつで、「計画(Plan)」、「実施・運用(Do)」、「点検・是正予防処置(Check)」、「見直し(Action)」を繰り返し行い、継続的に業務改善を図ること。

キリント

9	0	1	2	1	9	0
浦添市牧港5-2-1						
料金受取人 浦添郵便局 承 認 781 差出有効期間 平成30年7月 31日まで 返信 (切手不要)						
(受取人) 沖縄電力株式会社 企画本部 企画部 経営企画グループ 「CSRレポート2017」アンケート係 行き						

のりしろ 2

個人情報の取り扱いについて

本アンケートに記入していただいた情報は、以下の目的のみに利用させていただきます。

- (1) 今後のCSR活動やCSRレポートの改善・充実
- (2) 次年度レポートの送付(希望される方のみ)

